

## 手術支援センター機能の拡充～術前管理強化を目指して～

手術支援センター長  
麻酔科 教授すえひろ しょういち  
末廣 章一  
にかい てつろう  
二階 哲朗

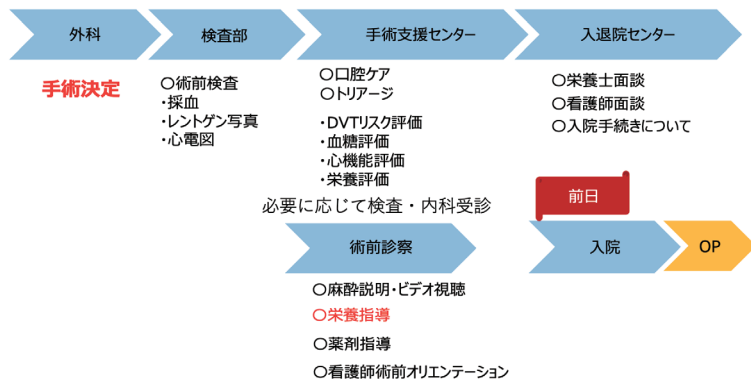
手術支援センターではこれまで、「安全・安心な手術」を実現するために、複数診療科が関わる高難度手術の調整支援、出血など手術中合併症への対応、周術期管理チームによる術前全身状態の評価と介入を行ってまいりました。

このたび、さらに術前管理システムを強化し、入退院管理センターとの連携を拡充することとなりました。新たな取り組みとして、手術に向けた全身状態の把握とリスク評価を一元的に管理、手術決定の段階から入退院管理センターと連携し、退院に向けた準備を早期に開始、医療者や患者さん・ご家族に向けた周術期教育・指導の実施を行います。

この仕組みにより、入院前から患者情報を共有し、退院に向けた課題解決に早く着手できます。また、PFM (Patient Flow Management) によって、患者中心の医療の推進、安全で質の高い手術、医療安全の強化、医療者の負担軽減が期待されます。

実際の流れとして、手術が決まった患者さんには、まず手術支援センター（麻酔科外来）を受診いただきます。ここで基本検査（血液・心電図・レントゲン）や詳細な問診を行い、必要に応じて追加検査、内科・薬剤・栄養指導、周術期チーム介入を調整します。その情報をもとに入退院管理センターが、退院後の生活を見据えた支援を早期から開始します。

手術支援センターは入院から手術当日まで、患者さんが安心して治療を受けられるよう全身状態の最適化と継続的なサポートを行います。



問い合わせ先 手術支援センター TEL:0853-20-2393(麻酔科外来)

## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

2025年10月15日～11月14日

対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

| 開催日                      | 開催名                                    | 場所(★印 学外開催)                              | 対象者   | 主催者                         |
|--------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 10月26日(日)<br>10:00～12:00 | 健康寿命をのばす、“いま始める”運動習慣<br>～未来のために今できること～ | ゼブラ棟 2 階だんだん<br>(会場参加もしくはYouTube Live配信) | 一般    | 島根大学医学部附属病院<br>リハビリテーション部   |
| 9月1日(月)～<br>11月30日(日)    | 令和 7 年度第 2 回肝臓病教室・家族支援講座               | 肝疾患相談・支援センター<br>ホームページ上での動画配信            | 一般 医療 | 島根大学医学部附属病院<br>肝疾患相談・支援センター |

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。

## 2024 年度 ワークライフバランス川柳

| 賞名        | 受賞作品               | ペンネーム(又は氏名) |
|-----------|--------------------|-------------|
| 鬼形副病院長賞   | 帰れます? 気遣う声に感謝沸く    | 三木 知恵       |
| 浦田特別副病院長賞 | やったっけ? 去年の記憶 どこへやら | こはち         |
| 林病院長補佐賞   | 鳴り止まぬ家でも母ヘナースコール   | のの          |

Shimane University Hospital  
島大病院ニュース2025年  
10月  
Vol.144Shimane University Faculty of Medicine  
50th Anniversary島根大学医学部  
創立50周年

## CONTENTS

表紙: (左) 消化器内科 科長 兼 教授 石原 俊治(前医学部長)  
(右) 病院長 椎名 浩昭

・医学部長就任のご挨拶

・島根大学医学部創立50周年  
記念式典・祝賀会を開催・手術支援センター機能の拡充  
～術前管理強化を目指して～

・研修会・講演会・セミナー開催情報



# 医学部長就任のご挨拶

島根大学医学部長 たけに たけし  
竹谷 健



私こと、このたび 10 月 1 日付で島根大学医学部長を  
拝命いたしました竹谷健でございます。

これまで小児科学の分野で臨床・教育・研究に携わ  
り、地域子どもたちやご家族に寄り添ってまいりまし  
たが、このたび医学部長として医学部全体の運営を担う  
にあたり、身の引き締まる思いでございます。

島根大学医学部が今日まで歩みを進めることができ  
ましたのは、地域医療の最前線で日々ご尽力いただい  
てる病院や診療所の先生方のご支援の賜物であります。  
学生や若手医師が臨床現場で多くを学び、地域の患者  
さんに向き合う姿勢を身につけられるのは、ひとえに先  
生方の温かいご指導とご協力あつてのことです。改めて  
心より御礼申し上げます。

今後は、教育・研究・医療のいずれの面においても  
地域の現場と大学が双方向に学び合い、高め合う関係をさらに強化してまいります。特に、地域の  
医療課題に即した共同研究や人材育成を推進し、未来を担う医療人が地元根ざし、安心して活躍  
できる環境づくりを進めてまいります。また、先生方の現場での教育機会をより一層充実させ、次世  
代育成につなげる所存です。

これからも地域の先生方と力を合わせ、誰もが安心して暮らせる持続可能な医療体制の構築を目  
指してまいります。変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

# 島根大学医学部創立50周年 記念式典・祝賀会を開催

総務課 総務・企画担当

島根大学医学部は、昭和 50 年（1975 年）10 月 1 日に、島根医科大学として設置されてから、令  
和 7 年（2025 年）で 50 周年を迎えることを記念して、創立 50 周年記念式典を 9 月 27 日（土）に出  
雲ロイヤルホテルで開催しました。

記念式典には、学内外の関係者約 160 名が出席し、石原医学部長（開催時）が、自身が本学の卒  
業生であることに触れながら、この半世紀の歩みを振り返るとともに、今後 50 年に向けた挑戦のは  
じまりであることについて決意表明をいたしました。その後、大谷浩学長、あべ俊子文部科学大臣  
（代読：文部科学省高等教育局日比医学教育課長）、丸山達也島根県知事、飯塚俊之出雲市長から、  
温かい祝辞を賜りました。

また、丸山知事からは、医学部と病院の長年の貢献に対し感謝状が贈呈されました。  
特別講演は、本学卒業生でもある日本医師会の長島公之常任理事（3 期卒）、記念講演は、金沢医  
科大学医学部の八田稔久教授（8 期卒）、一般財団法人 Ruby アソシエーションのまつもとゆきひろ理  
事長にそれぞれご講演いただきました。

式典後開催した祝賀会では、椎名病院長の挨拶の後、嘉村正徳出雲医師会副会長、池田一島根県  
議会議員、大場利信出雲市議会副議長、小林祥泰島根大学元学長による祝辞、山口修平島根県病  
院事業管理者による乾杯、佐藤利昭医学部萌雲会会長、百留亮治医学部後援会会長によるスピーチ  
で会場は大いに盛り上がり、最後は鬼形和道島根大学副学長の万歳三唱で会を締めくくりました。

島根大学医学部は、これからの 50 年に向けて、教育、研究、社会貢献でさらなる地域との連携、  
充実を図り、関係機関等と連携して、地域と世界に貢献することを使命として取り組んでまいります。

問い合わせ先 小児科学講座 TEL:0853-20-2220

問い合わせ先 総務課 TEL:0853-20-2012



島大病院ニュース 2025年10月

# お知らせ

## 急増する非結核性抗酸菌症

呼吸器・化学療法内科 教授 いそべ 威  
外来医長 はまぐち めぐみ  
濱口 愛

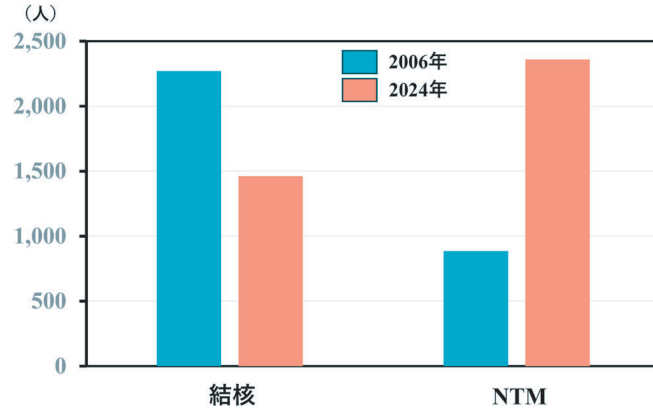
結核の罹患数および死亡数が減少傾向にある一方で、非結核性抗酸菌症（以下 NTM 症）は増加傾向にあり、2014 年には日本における結核の罹患率を上回ったことが報告されています。過去 20 年間（1997-2016 年）における日本の NTM 症患者の死亡統計では、60 歳以上の女性の粗死亡率が年々増加しており、特に 2014 年から 2016 年にかけては、女性における NTM 感染症の死亡数が結核感染症を上回りました。

NTM 症は自然環境や生活環境に常在し、空気中の菌を吸い込んだり、感染源に接触することで感染します。特に浴室、シャワーヘッド、庭いじりや園芸作業中の水しぶきや土ぼこりを吸入することで感染のリスクが高まります。菌を吸い込んでも皆が発症するわけではなく、特に高齢者で感染しやすい要因があるか免疫力が低下している場合に発症しやすいとされています。

確定診断には、痰などの検体から菌種を同定し、培養検査で陽性を確認した上で抗生物質の感受性を見ることが必要です。当院では、検査部と臨床の医師が密接に協力し、NTM の培養や同定に関する専門知識を共有し、質の高い診断を提供しています。

診断が確定した場合、複数の薬を組み合わせた多剤併用療法を行います。当院には、日本結核・非結核性抗酸菌症学会の認定医 4 名、指導医 3 名が在籍し、非結核性抗酸菌症専門外来も開設しております。急増する NTM 症に対応すべく、ぜひ当院へのご紹介をご検討ください。

日本国内における 結核、NTM の死亡数の年次推移



問合せ先 内科学講座（呼吸器・臨床腫瘍学） TEL：0853-20-2580

お知らせ  
島大病院ニュース

2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年10月

# ご報告



ケーススタディの各グループ発表



ロールプレイの様子



修了者 15 名

## 「ELNEC-J」コアカリキュラム 看護師教育プログラム」を開催しました

緩和ケアセンター 看護師長 みよし ゆみこ  
三吉 由美子

院内の看護師を対象に 7 月 26 日（土）と 8 月 9 日（土）の 2 日間で「ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム」を開催致しました。がんのみならず慢性疾患や老いなど、すべての患者さん、ご家族へ質の高いエンド・オブ・ライフケアが提供できるように、知識・技術を習得することを目指した研修です。

本研修では、下記 1 から 10 の内容を系統的・包括的に学習ができるプログラムになっています。講義やロールプレイ、グループワークでのケーススタディーを学び、すぐに実践に活かすことができる内容としました。参加者からは「ロールプレイを通して他の方の意見を聞けたり、患者さんの気持ちを知る機会になった。」「臨死期の看護やエンゼルケアは丁寧に教わる事がなかったので、とても勉強になった。これからの看護に活かしていきたい。」「がん患者さんと関わる機会が多く、コミュニケーションで困ったことがありましたが、今回学んだことを明日から実践に繋げて行きたいと思います。」などの感想がありました。

院内にはこの研修の指導者が 5 名います。今回の研修で指導者もたくさんの方の事を学ばせていただきました。これからも一緒にエンド・オブ・ライフケアについて考え、実践していき、エンド・オブ・ライフケアの向上のためにこの研修を継続していきたいと思います。

※ELNEC-J  
(End-of-Life Nursing Education Consortium -Japan)  
質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供するために、必要な基本的知識を学び、看護師の役割について考えることができる教育プログラムのこと

### 研修内容

1. エンド・オブ・ライフケアにおける看護
2. 痛みのマネジメント
3. 症状マネジメント
4. エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的問題
5. エンド・オブ・ライフケアにおける文化への配慮
6. コミュニケーション 患者の意思決定を支えるために
7. 喪失・悲嘆・死別
8. 臨死期のケア
9. 高齢者のエンド・オブ・ライフケア
10. 質の高いエンド・オブ・ライフケアの達成

問合せ先 緩和ケアセンター TEL：0853-20-2441

ご報告  
島大病院ニュース

2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年10月

# ご報告

## 解析編

## データで読み解く患者満足度アンケート — 縮約スコアの掛け算が示す、チーム医療の相乗効果 —

患者満足度向上WG  
医療情報部 准教授 かわむら としひこ  
河村 敏彦

当院では過去3年間の入院患者437名のアンケートをもとに、医師と看護師による「チーム医療」が患者満足度に与える影響を検証しました。今回は、医師の説明に関する回答と看護師の傾聴や配慮に関する回答を、それぞれ**主成分分析**で得られた縮約スコアとして用い、その**2つのスコアの掛け算である医師×看護師(交互作用)を回帰モデルに導入**しました。

解析の結果、医師スコアと看護師スコアの単体効果はいずれも統計的に有意ではなかった一方で、交互作用は高度に有意(p値<0.001)となりました。これは個々の対応が単独で満足度を左右するというよりも、「両者がかみ合ったときにより大きく満足度が押し上げられる構造」であることを意味します。

表は、今回のモデルに含まれたすべての要因とそのp値の一覧です。

交互作用が有意で、主効果が非有意となるのは統計的にはあまり見られないパターンですが、これは「チーム医療」という現場の特徴をよく表しています。つまり、主効果が効かずとも相乗効果が大きく働くという結果は、**患者満足度は医師の説明と看護師の傾聴の組み合わせで決まる**という重要な気づきをもたらしています。

患者満足度の向上には、医師や看護師の個別対応だけでなく両者の連携の質が重要であることが、データによってあらためて裏づけられました。日々の業務の中でお互いの対応がどう響き合っているかを意識することで、患者にとっての安心と納得をより確かなものにすることができるのです。

表:交互作用モデルに基づく満足度の影響要因

| 設問内容                | p値     | 解釈・補足         |
|---------------------|--------|---------------|
| <b>医師スコア×看護師スコア</b> | <0.001 | 連携の質が満足度に強く影響 |
| 職員間の連携              | <0.001 | 最も強い影響        |
| 病院の快適さや案内表示         | <0.001 | 生活環境スコアとして有意  |
| 入院中の食事              | 0.007  | 食事面の満足度に影響    |
| 相談員の対応              | 0.012  | 対人支援の質が影響     |
| 医師スコア               | 0.137  | 非有意（参考値）      |
| 看護師スコア              | 0.844  | 非有意（参考値）      |

問合せ先 医療サービス課 TEL：0853-20-2067



2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年10月

# ご報告



島根大学医学部附属病院 看護部

病院説明会・体験・交流会

募集要項

資料請求・お問い合わせ

看護部について

私たちの仕事

先輩の声

働く環境

教育・キャリア

トピックス

よくある質問

患者の  
そばから始める  
温かな看護

Nursing  
needs your *warmth*



病院説明会・体験・交流会

資料請求・お問い合わせ

## 看護部ホームページをリニューアルしました！

看護部長 かわかみ としえ  
川上 利枝

このたび、当院看護部のホームページを全面的にリニューアルいたしました。看護部の理念や日々の取り組みをより分かりやすく紹介するとともに、実際に働く看護職員の声や活動の様子を多数掲載しています。新しいページでは、「経験から見た看護の魅力」や「看護職員のトークカフェ」など、看護師一人ひとりの思いや、チームで支え合う温かな職場の雰囲気伝わるよう工夫を凝らしました。現場のリアルな声を通じて、看護のやりがいや当院の魅力を感じていただける内容となっています。

また、採用情報も充実させ、教育体制やキャリア支援、福利厚生などを詳しく紹介しています。「データで見る看護部」として、平均超過勤務時間や有給休暇取得日数、育児時間制度利用者数なども掲載し、安心して応募いただけるよう情報発信に努めています。

看護部では、「患者のそばから始める温かな看護」を大切に、看護師一人ひとりが、患者さんの声に耳を傾け、寄り添いながら、日々看護を実践しています。今後も、看護部の取り組みを積極的に発信し、地域に根ざした看護の実現と、より良い職場づくりを目指してまいります。ぜひ一度、リニューアルしたホームページをご覧ください。

問合せ先 看護管理室 TEL：0853-20-2478

看護部ホームページ



2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年10月

# ご報告



## 成績優秀者へのインセンティブ表彰式を開催

学務課学生支援担当

医学部では、学生の学習意欲を高めることを目的に、優秀な学業成績を収めた学生を表彰するために「インセンティブ表彰式」を開催しており、今年度は、7月30日（水）に実施しました。当日は、医学部長をはじめ、医学科長、看護学科長が参列しました。式典では、医学部長から表彰学生（該当者21名うち出席者11名）に対し表彰状を授与し、学生は照れ臭そうにも、誇らしげにも見えるような表情で表彰状を受け取りました。

医学部長から受賞者へ祝辞が送られました

成績優秀者の皆さん、このたびの表彰、誠におめでとうございます。  
皆さんの日々の努力と研鑽が結実し、このように高く評価されたことを大変嬉しく思います。  
今回の受賞はご本人の誇りであると同時に、医学部全体にとっても大きな励みです。  
どうか今後も探究心を忘れず、知識と技術を磨きながら、人々に信頼される医療人として  
さらに成長されることを心から期待しています。

また、学生へは副賞として、希望図書を贈呈いたします。

普段から学生の近くでサポートを行う我々にとっても、とても喜ばしい機会となり、表彰学生の皆さんの今後の活躍を心から期待するとともに、本学に学ぶすべての学生が互いに切磋琢磨し、成長していくことを願っております。

問合せ先 学務課学生支援担当 TEL：0853-20-2088



2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年10月

# ご報告



## 「島根大学病院の最新治療 2025夏」を開催しました

総務課企画調査係

8月24日（日）に、今年度3回目となる市民フォーラムを臨床大講堂にて開催し、「頭の働きを考える」をテーマに多くの方にご来場いただきました。

最初に脳神経内科の長井篤教授が、認知症や軽度認知症障害（MCI）の治療法を解説し、当院での新薬治療件数が中四国最多であること、今後はさらなる新薬の登場により早期治療が可能になるとの展望を紹介しました。

次に、精神科神経科の稲垣正俊教授が、うつ病の定義や環境要因について、ネズミの実験例などを交えて解説しました。脳は体と環境に密接に関係しており、気持ちはすぐには変えられなくても、行動や考え方を変えることで予防や対処が可能だと話しました。

薬剤部の矢野貴久教授は、認知症やうつ病の薬などの具体例を挙げながら、服用時の注意点について説明し、不安なときは薬剤師に相談するよう呼びかけました。また、当院と薬局との情報連携や薬剤師不足についても触れました。

質疑応答では、活発な意見交換が行われ、中には大学病院の赤字問題への言及もあり、関心の高さが窺えました。最後に椎名病院長から当院の現状についても説明がありました。

今年は医学部が創立50周年を迎えることから、長井教授が50周年を記念したオリジナルジャンパーを着用し、来場者にPRを行いました。

今後も、市民フォーラムなどを通じて地域の皆さまに役立つ情報を発信してまいります。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL：0853-20-2531



2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年10月

# ご報告



心臓リハビリテーションの説明

エルゴメータ体験

## 健康ハートの日イベントを開催しました

リハビリテーション部 理学療法士 いまおか けい  
今岡 圭

日本心臓財団などが共催する8月10日「健康ハートの日」に合わせ、当院リハビリテーション部の循環器リハビリチームで、2つの企画を実施しました。

1つ目は職員向けの心不全予防啓発活動です。超高齢社会を迎えるにあたり、将来的な心不全パンデミックが懸念されています。心不全にはA～Dのステージがあり、それぞれのステージに合わせた生活習慣の改善が、発症予防・進行抑制に繋がります。そこで、当チームでは、「stop A to BCD（ステージAからB・C・Dへ進行させない）」をテーマに、職員向けの啓発チラシを作成し、8月11日（月）に各部署へ配布しました。この活動が、職員一人ひとりが自身の心臓について考えるきっかけとなり、心不全のない健やかな未来を築く一助となることを目指しています。

また、2つ目は、8月28日（木）・29日（金）に循環器内科や心臓血管外科に勤務する病棟看護師を対象として「リハビリ室の見える化～互いの専門性を繋ぐ最強チームへの一歩～」をテーマに心臓リハビリテーション体験会を開催しました。エルゴメータを使用した運動療法や、リハビリスタッフが普段実施している患者さんの身体機能評価や指導などを体験していただきました。参加者からは「実際のリハビリの様子が分かった」「患者さんへの指導のイメージがついた」といった感想が寄せられました。

心臓リハビリは多職種連携が重要であり、このようなイベントを継続し、今後もチームで一丸となって患者さん一人ひとりに最適な療養を支援してまいります。

問合せ先 リハビリテーション部 TEL：0853-20-2457



2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年10月

# お知らせ



写真1 当院骨粗鬆症リエゾンチーム

写真2 スマホでの啓発動画視聴の様子

## 世界骨粗鬆症デーと当院の取り組み

リハビリテーション部 副部長 さかい やすお  
酒井 康生

毎年10月20日は「世界骨粗鬆症デー（World Osteoporosis Day）」として、骨粗鬆症の予防と啓発が世界的に行われています。今年はこの日を含む10月20日（月）から24日（金）を「骨粗鬆症ウィーク」と定め、当院骨粗鬆症リエゾンチーム（写真1）が啓発活動を行います。

骨粗鬆症は骨折の大きな要因であり、寝たきりや要介護の一因となります。日本では、2020年1年間に大腿骨近位部骨折が約23万人、椎体骨折が約49万人、橈骨遠位端骨折が約15万人新たに発生していると推計されています（萩野, Geriatric Medicine 2021）。

これらはいずれも骨粗鬆症を背景とした脆弱性骨折であり、今後も高齢化に伴い増加が見込まれます。そのため、骨折や再骨折の予防だけでなく、原因疾患である骨粗鬆症を早期に発見し、適切に介入することが重要です。

今回の啓発活動では、県の委託事業として島根大学が運営するオンライン健康教室「しまねMAME（まめ）インフォ」に掲載予定の動画（写真2）を紹介し、外来や病棟で動画にアクセスできる二次元コード入りチラシを配布し、スマートフォンで気軽にご視聴いただける環境を整えました。骨粗鬆症は「栄養」「運動」「検査」による予防・管理が可能であり、特に定期的な検診受診は早期診断につながります。

医療スタッフの皆様におかれましては、患者さんへの啓発や指導の場で積極的に検診受診を勧めていただき、生活習慣改善や早期介入につなげていただければと存じます。本動画も知識確認や患者教育の一助としてご活用いただければ幸いです。

しまねMAMEインフォ  
掲載動画



問合せ先 リハビリテーション部 TEL：0853-20-2457



2025年10月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

